

第二回

信大衛星ワークショップ

信州大学と信州衛星研究会が連携して開発した信州初の超小型衛星：可視光通信実験衛星ShindaiSat(愛称：ぎんれい。寸法40cm×40cm×45cm、質量32.9kg)は、平成26年2月28日にNASAのGPM主衛星の相乗り副衛星の一つとして種子島宇宙センターからH-IIAロケット23号機で打ち上げられました(国際標識番号：2014-009A)。高度400km、軌道傾斜角65度の軌道に投入され、平成26年11月24日に大気圏に再突入するまで約9か月間正常に機能し、多くの成果を上げることができました。

第1回のワークショップは東日本大震災直後の平成23年4月21日に信州大学工学部で開催され、信州製人工衛星開発の提案をしましたが、本ワークショップが契機となり、多くの県内企業が参加した信州衛星研究会が同年7月に発足し、「ぎんれい」開発の推進力となりました。

第2回ワークショップは、ぎんれいプロジェクトに引き続き、新たな展開を期して、アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区に指定されている飯田市で開催します。「ぎんれい」の成果報告と今後の活動、次期ミッションについて議論します。

平成27年1月21日(水) 10:00~18:00

情報交換会 18:00-19:30

南信州・飯田産業センター(飯田市上郷別府3338-8)

◎ 主催: 信州大学, 信州衛星研究会(SSWS)

◎ 共催: 飯田航空宇宙プロジェクト, 静岡大学, STARSプロジェクト, 浜松商工会議所

プログラム

10:00~ 開会挨拶	笹本正治 (信州大学副学長)
10:10~ ぎんれいプロジェクト	中島 厚 (信州大学特任教授/SSWS事務局長)
10:35~ 「ぎんれい」の運用結果	杉山洋憲 (信州大学大学院修士2年)
11:00~ 可視光通信実験結果	山本健司 (信州大学学部4年)
11:25~ 姿勢制御システムとその運用結果	清水悠介、小田敏充 (多摩川精機)
12:05~ 送信用投光器の開発	藤森広司 (日亜化学工業)
12:30-13:30 昼休み	
13:30~ 次期ミッションと信州衛星研究会	中島 厚 (信州大学特任教授/SSWS事務局長)
13:50~ 次期人工衛星	中山 昇 (信州大学工学部准教授)
14:10~ 森林のレーザー観測	加藤正人 (信州大学農学部教授)
14:30~ 無人機の開発	大橋俊夫 (インダストリーネットワーク)
14:50~ 飯田航空宇宙プロジェクトの取り組み	松島信雄 (南信州・飯田産業センター)
15:10-15:30 休憩	
15:30~ STARS-Aプロジェクト	能見公博 (静岡大学工学部教授)
15:50~ STARS-Cプロジェクト	桃井 優 (静岡大学工学部修士1年)
16:10~ 宇宙エレベータ研究の現状とその技術実証	山極芳樹 (静岡大学工学部教授)
16:30~ 光を用いた宇宙計測	瀧口義浩 (光産業創成大学院大学教授)
16:50~ 小型衛星開発	松本諒平 (原田精機)
17:10~ 浜松地区における航空宇宙の取り組み	長山訓大 (浜松商工会議所)
17:30~ 質疑応答	
17:50~ 閉会の挨拶	信州大学
18:00~ 情報交換会	

参加無料